

21/1/31 名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会 西文化小劇場  
(名古屋市民オンブズマンによるメモ)

63人

13:30

浅野：始める

忙しい中来ていただきありがとう

進行について

名古屋城講演 30分

状況について 15分動画

休憩後質問などを伺う

進行にご協力を

資料、アンケートなどで配った

退場は後ろの方から

報道、記録写真

はじめに河村あいさつ

河村：コロナの時 日曜 よく来てくれた

一言だけ

名古屋の城 国宝1号だった

姫路城2号

空襲で焼けた 昭和20年5月14日

凶面いっぱい

世界中で名古屋城ただ一つ

文化庁からも、広島城原爆破壊

戦争中に破壊

コンクリートで作った

寿命が来る どうしようか

第1号 名古屋 国宝1号

ぜひ1000年は大事にしよう

法隆寺は1300年

建ててすぐ焼けた

65%創建当時のひのき

1000年残す

戦争があるといけない

大事にしたい 子どもたちいいもの作ってくれた

50年くらいで国宝になると思う

浅野：学芸員堀内より 宝暦大修理について

13；36

堀内：堀内です。

1750年代 修復工事

天守台石垣と一緒に行われた

1609 家康が命令

1610 20家 石垣

1612 大天守・小天守

天守台石垣 加藤清正

普請担当場所 天守閣記載なし

別の資料で分かる

1752-1755 宝暦大修理

1871-1893 陸軍

1893-1930 宮内省

1930- 名古屋市

1945 焼失

1957 再建工事

1959 再建

宝暦大修理の後の姿

8代宗勝

傾いた大天守を大縄と巨大ろくろで持ち上げる

高さ36.1メートル

石垣修復

天守をもとに戻す

1750年 2月 宗勝視察

5月-7月 評議

北側石垣 出っ張っていた

5月 堀を借り埋 天守を持ち上げよう？

→縄張りが変わってしまう

7月 天守を持ち上げて修復

縄を柱に縛り付けて引っ張る

江戸幕府に修復申請

1752年 修復が行われる

仕様之大法

1752年2月 竹腰山城守 普請奉行と作事奉行に命令

3月 御事始の儀式

傾きの測定 東南隅を基準

西北隅柱 37センチ沈下

ものが滑ってきた？

井楼、栈橋、足代の設置

仮設構造物 足場

三重目以下片付方

解体して

揚方

北 1752年8月—12月

西 1753年6月—7月

断面図

ひっぱりあげているうちに石垣を修理した

石垣取りほぐし方・築方

北 1752年12月—2月

西 1753年6月—7月

遣方 勾配基準を示すための櫓

縄を張って平行移動させた

北側石垣解体、積み替え

西側石垣解体、積み替え

①②③の順で解体

加藤清正石垣と尾張藩石垣が併存している

修復 間詰石が少なくなっている

起方 水平に

西 1754年2月—4月

北 1754年4月—6月

解体部の再建、瓦の葺き替え 銅瓦に

名古屋城天守くらいか？

1755年2月 完了

1755年5月 褒美を与えられる

宝暦の大修理 最大の城郭修理

一般には知られていない

語るうえで必要不可欠

半分は宝暦工事で作り直された

以上で講演を終わる

14:05

浅野：ありがとう  
名古屋市からの説明

14:20

浅野：5分ほどの休憩  
休憩中 催し物の宣伝  
金シャチ地上に

14:24

浅野：皆様からの質問を受け付ける  
学芸員に対する質問はご遠慮を  
職員紹介  
1人3分以内で簡潔に  
まだ発言していない人を優先

高田：天白区

河村 いろんな意見を聞かせて  
本丸御殿 金シャチ横丁できた  
天守閣放置 無理な計画  
夢を見せてくれた 今は夢と現実を区別する時期  
そっくりにたてて、地震にも火災にも強くバリアフリー 無理  
基礎構造  
木造復元ではなく、大坂城、熊本城をお手本に  
耐震改修整備 終えた  
震災復興のシンボル 次の100年も一緒に  
名古屋城 戦後復興のシンボル  
展示を充実すれば、わかりやすく説明することができる  
建て替えなくてもよい

浅野：2点

入場禁止 なぜか  
木造 無理があるのでは

名古屋城：現天守閣閉鎖 耐震診断をしたところ値が低かった  
大地震時倒壊等のおそれ  
耐震補強すれば？ 先人が残した資料が残っている

建物自体機能 博物館 いろいろ課題が多い  
名古屋市としては、木造復元の方針を固めている

加藤：西区

3つ質問がある

基本設計できた オンブズマンに聞いたなら何ができたかしろうとしても  
黒塗り よくわからない

市民にも知らされない 秘密主義ではないか

実施設計 細かいことまで 秘密もあるかも

基本設計 骨組みなので秘密はないはず 江戸時代からのものを作るから  
500億円以上経費木造 市民の税金は使わない

債券を発行する

木造世界中からくる 人数が何人

数字を見せてもらった

コロナ 飛行機も飛ばない 国内からの観光客

まだしばらく続きそう

コロナ状況を見ると、人数来るからお金返せる 見直さないといけないのでは

3つ目 バリアフリー 新しい技術3年前から募集

もうそろそろアイデア出てくるのでは どうなのか

浅野：3つ

1つ 基本設計秘密主義

2つ 500億 入場者多くなる予測 コロナ禍予測で見直し

3つ バリアフリー新技術

名古屋城：情報公開

基本設計ではなく基本計画ではないか

固まり切っていない 中途半端な情報を開示することで混乱  
率直な意見交換

事業者法人に不利益が生じるおそれ

基本設計図 基礎構造以外は開示させていただいている

名古屋城：収支計画

新たな竣工時期が定まっていない

定まり次第収支計画を算定する

新型コロナ 社会状況 今後どうなるか見通すのは困難

収束後を見据えた楽しみ方

さらなる魅力向上  
分散して場内を楽しんでいただく

名古屋城：バリアフリー

10 ページ スライド

本市としては障害のある人もない人も同じように  
両立を考えている

どんな技術があるのか？ 資料編 バリアフリーを書いている  
資料冊子 11 ページ 昇降に関する付加設備

バリアフリーの考え方、技術

階段昇降困難 車いす安全に昇降

メーカー調査 世界中調べた

公募でやる ぜひとも公募してほしい 期待している

歩行、階段困難

乗り換えができない電動車いす そのまま昇降できるように

浅野：次の方

市民：5 ページ上段

事故前に戻っていないのではないか

年度対応

9 ページ 木材

石垣部会について

発掘調査

二の丸御殿を作るのか

障がい者の対応

浅野：10 項目すべては無理

可能な範囲で

き損事故

鈴木：毀損した石の列が戻るのか？

1 年前 3 月に米蔵跡と思われる石列を毀損

元に戻るのか？ 動かしたものを戻す

本当に同じか？ 言い切れない

丹念に調査して 石の痕跡、石のかみ合わせ 調べた

文化庁とも協議 極力江戸時代と同じ場所に再現するようつとめた

名古屋城：スケジュール年度が入っていない

昨年 8 月 解体できなかった

2022 年 12 月竣工無理 延期した

文化庁 解体 調査不足、検討事項

進めてきた

今年度内に示して 4 月作業を進めている

区切りをつけて早期にやりたい

スケジュールに遅れがでないように

新たな竣工時期を整理

名古屋城：木材 2000 本

竹中が管理 倉庫に保管

雨、湿気、直射日光を防ぐ 通気性がよい

木材が使えなくなることをないように

表面が色が変わる→荒製材 丸太から大きめに製材

実際使うときは表面を削る 問題ない

複数の宮大工 10 年 20 年たっても木材使えなくなることはない

法隆寺 1300 年 風土にあう

しっかり管理することで無駄にはならない

村木：石垣部会との議論

石垣現況調査進めている

文化庁からの指摘事項調査

石垣部会と相談している

部会等開きにくい、定期的に報告している

名古屋城：バリアフリー協議会

名古屋市障害者団体連絡協議会

木造天守 ご意見を聞いているが、公開の会議ではないように

話し合いの場で公開していない

皆様と様々な意見を交わしている

事業自体全体の進捗 公募 適切な時期 開始したい

階段体験館 木造天守 1 階階段を再現

バリアフリー新技術 実験するため

公募が始まっていない 実験には至っていない

木造見て確認していただいている

土日祝開館 お越しいただければ

浅野：時間の関係であと 2 人

下条：中区

一刻も早く木造待ち望んでいる  
実現課題 文化庁の認可  
どうも時間がかかる  
外部から見ると 名古屋市側の体制が弱いのでは  
一刻も早く認可を求める  
竣工時期気になる  
70 過ぎている 生きているうちに見たい  
2028 年 なんとか 2-3 年前倒してできないか  
要望する  
認可が下りた後 竹中  
工事に取り掛かる課題

浅野：体制強化

竣工時期早く

佐治：体制強化

総合事務所 平成 31 年度 調査研究センター  
発掘など  
学芸員強化 文化庁の要望に応えられるように  
竣工時期 1 度有識者会議に示したことも  
8 ページ この 3 月中にまとめて文化庁に出す 復元検討委員会  
クリアしたうえで

竹中：今回の大規模建造物 過去に類例がない

奈良の大極殿 大規模は経験ある  
名古屋城のようなのははじめての試み  
伝統に関する職人さん、材料供給、調達 バックグラウンド  
どういう体制 大きな課題  
竣工スケジュールが明確になれば、プロセスも明確にする

加藤：千種区

1 点 50 年たてば国宝

名古屋市としては確認 回答

竹中 木造復元しているが、50年たって国宝になったものはあるか  
バリアフリー 乗り換えなしで よい話

小型エレベーター

5人

電動車いすが載れて、史実に忠実

人員体制 有識者会議

天守閣、全体部会

近代建築座長

城郭考古学得意ではない

そういった方を差し置いて

「石垣部会は安全性を軽視」

名古屋城は時間を浪費している

異動で変わる 継続性がない

からめて馬出石垣 最初からやっている

安全性 天守閣人 モルタル落ちた

2メートルくらい

耐震不足閉めている ものが落ちてきたら安全性に問題がないのか

浅野：50年たったら国宝

エレベーター 11人乗りと小型の中間

有識者 近代建築トップ

体制の継続性

安全性

村木：復元建造物が50年で国宝になるか

これまでは例がない

答えを持っていない

森：嘘だということ

河村：嘘じゃない やる

森本：公募によって広く障害のある人ない人同じように観覧大事

検討 11人乗り 整備指針掲げられている

柱や梁主架構を変更しない

電動車いす乗り換えなし 介護者同行 検討

村木：担当者継続

調査しながら整備

担当学芸員 近年体制強化した センター作った

搦手 1人やってきた

担当者 考古学8名いる

組織としては継続してなりつつある

竹中：当初の提案 柱、梁 主要な木材をいじることなく

なんとか昇降機 4-5人乗り

そのサイズでは電動車いすは載せられない

最近電動車いす増えている 協議事項と認識

当社としては提案した

佐治：有識者メンバー

座長の選任の仕方

市の取りまとめ実績 総合的に勘案

組織 人員体制

専門性の継続 要望しながら進めている

市民：木造 抗菌処理

不燃処理してはどうか

名古屋城：史実に忠実な復元

もともと抗菌処理 木材保存させるやり方

当時はおそらくやっていなかった

前提ではない

湿気が多い 伊勢神宮 足元に銅板をまく 腐りを防ぐ

名古屋城を管理するうえで必要となれば、有識者、文化庁と相談して検討

今現在は腐りやすいところ以外はもとのとおり復元したい

浅野：閉会の時間

河村：今日もありがとう

中区 私も72

八事にいかないといけない

文化庁 第1号 コンクリートでつくったもの

世界中でない

丁寧なうえにも丁寧に

値打ちをどう考えるか

「こんなものええがや なしで こんくりーとでええがや」  
沖縄首里城 燃えた あれをコンクリートで作ってよいのか  
今のところあり得ない 沖縄の人の気持ちを考えないと  
木の文化 奈良ドキュメント 燃えてなくなる

何もなしになった

フランスノートルダム寺院 燃えたが木の部分だけ

パルテノン神殿残っている

燃えてしまったからええがや

奈良ドキュメント

3つ条件

- ・その場所復元
- ・図面が残っている
- ・材料 なるべく同じもの

木の文化 石と同じように本物

400年の時空を超えて本物とみなす

伊勢神宮 20年ごとに建て替える

春日大社建て替える

僕はものすごい価値があると思う やり直せる人生

平和を訴える

宝を残す

3回目ご意見いただきサンキューベリマッチ

浅野：以上で説明会終わる

混雑緩和のためお待ちを

出口で回収

森：河村市長、文化を語れるのか

名古屋を恥かかせやがって

浅野：後ろの方からご退場を